



主体性を育む泉小学校

～6年生児童が計画した修学旅行代替行事～

織部ヒルズでショッピング

6年生にとって思い出だけでなく、自主性や企画力などを育むことができる修学旅行が新型コロナウイルスの影響で中止になりました。そこで6年生児童が学年全員の意見を集約し、地元の産業である陶磁器の良さを感じるとともに、思い出づくりにもなる遠足行事を主体的に計画・実施しました。

当日は、学校から片道4kmのところにある織部ヒルズまでクイズや写真撮影などのミッションをこなしながら班の仲間と楽しく歩きました。織部ヒルズや道の駅では、陶磁器などを土産として購入しました。子どもたちからは、「修学旅行の中止は残念だったけれど、みんなで協力して楽しい行事を計画したことが楽しかった」「地域には素晴らしい産業があることが分かってうれしかった」などの声が聞かれました。

今後は修学旅行の代替行事の第2弾として、校内で思い出づくりができるような楽しい行事も企画しているところです。



目指せ全国優勝

にしかわら りく
妻木小学校3年 西川原 利紅さん

全日本少年少女空手道選手権大会に小学1年生の時から2年連続で出場中の妻木小学校3年西川原利紅さん。2年生の時は全国大会5位入賞し、3年生では全国大会中止のためオンラインで行われた世界大会では見事優勝しました。次の大会を見据え、日々の練習をひたむきにがんばっています。

利紅さんが習っているのは、空手のいわゆる「形」。5つ年上の姉も習っていたので、小さいころから姉の練習についていくことが日常でした。幼稚園の年長クラスに通うようになってから、姉と同じ道場「拳和会」へ入会。「お姉ちゃんが大会で勝てるようにがんばっているところを見て、すごいなと思った」と当時の心境を話してくれました。

平日は家で1時間、土日は道場の練習で3～4時間と毎日稽古に励み、型の基本を徹底的に練習しています。得意技は、「蹴り」と「突き」。練習すればした分だけ強くなったと感じ、「練習してどんどん強くなりたい。全国にはライバルもいるけど、勝ち進んで全国優勝したい」と大きな目標を真剣な表情で話してくれました。